



校長便り 第16号(令和4年12月5日)

凡事徹底

「当たり前のことが当たり前に見える」を学校教育のあらゆる場面で実践してまいります。生徒・保護者の皆様ご協力をお願い致します。

本日ここに県教育委員会教育長半嶺満様をはじめ、北中城村長比嘉孝則様、沖縄市長桑江朝千夫様、中城村長浜田京介様、多くのご来賓、同窓生、PTAの皆様、関係各位のご臨席を賜り、コロナ禍の中ではありますが、創立40周年記念式典を盛大に挙行できますことは、このうえない慶びと安堵するところでございます。職員・生徒一同、心よりお礼申し上げます。本校は、昭和57年11月25日をもって設立を認可され、翌58年4月8日に開校式並びに第1回入学式が挙行されました。以来、40年の長きにわたり本日まで地域に根ざし、地域から信頼される学校として歩んで参りました。

また、校訓「剛健・誠実・進取」のもと、「心身ともに強く逞しく、真心を持って人やものに接し、自ら進んでものごとに積極的に取り組む生徒」の育成に邁進し生徒・保護者・地域から多大な信頼を得て9,927名の卒業生を県内外、各界各層に送り出しました。

地域から信頼される伝統校として、歴代校長をはじめ教職員、生徒達の真摯な努力により学業面・スポーツ・文化面で輝かしい実績を挙げて参りました。特に自転車、男女バスケットボール競技等の県内外での活躍は、「北中城」の名を全国に轟かせました。本事業に集う我々は、誇りを胸にこれからも母校「北中城高校」を更なる高みへ牽引する責務がございます。

さて、昨今の教育を取り巻く状況は大きな変革期にあります。グローバル化の進展、技術革新、予見困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされております。また、新時代 Society5.0の到来に向けて、ICTを基盤とした先端技術を効果的に活用した学びを通して、「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育」を本校も力強く推進しなければなりません。明治5年の学制発布から150周年、本県においては日本復帰50周年の記念すべき節目の年になるとともに「新たな沖縄振興計画」や「沖縄県教育振興基本計画」がスタート致しました。時代の大きな節目と本校40周年事業の開催は、本校の未来を予祝し、本校教育のますますの発展と本校から巣立つ人材が沖縄・日本の未来社会創造者たらんことを教示しております。